

# 安達太良山山行報告

【山行日】2023年 3月 5(日) 快晴  
【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00  
【費 用】マイカー1台 : 5000円  
【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬、石澤、藤原ト  
【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00=安達太良高原スキー場 P7:55/8:15~勢至平 9:30/9:40~峰ノ辻 10:30/10:40~安達太良山 11:20/11:40~薬師岳手前 12:00/12:25~薬師岳 12:50~安達太良高原スキー場 P13:20/13:40=栃木市運動公園 P15:25



ここ数年毎年安達太良山雪山山行を計画したが、山頂に立つことが出来なかった。今年こそはと思ひ、比較的天候が安定する3月初旬に計画した。思惑がズバリ的中し、快晴の日和に恵まれ栃木市運動公園を出発する。栃木ICから東北道を北に進み、二本松ICを出て安達太良高原スキー場



へ向かう。スキー場の駐車場に着くとすでに数十台の車が止められ、そのほとんどが登山者の車である。準備を整えたらRW駅でトイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。スキー場の右側を進み、直ぐに標識に従って右に広い雪道を緩やかに登って行く。右に大きくカーブして烏川を渡った先の広く平らな場所でアイゼンを付ける。この先左に大きくカーブする所を直進し、旧登山道標識に従って急坂を登って行く。樹林帯の中にしっかりトレースが付けられ、一步一步確実に登って行く。樹林帯を抜

け明るく開けた場所で休憩し、衣服調整と水分補給を行う。直ぐ脇の岩場に出ると展望が得られ、これから目指す安達太良山を見ることが出来た。ここからさらに傾斜がきつい登りになり、切り切ると馬車道と合さり緩やかな登りとなる。緩やかな雪原を歩くようになり、左手に安達太良山が見えると間もなく勢至平の分岐に着く。小休止してキーウィフルーツとキーウィケーキをいただき、エネルギーを補給する。丁度降りてきた人が来て、雪の状況を聞くと「良く締まっています踏み抜きは無かった」との事で、スノーシューは付けずこのままアイゼンで登ることにする。勢至平の広い雪原歩きは爽快で、さえぎる物が無い展望を楽しみながら登ることができる。



多くの登山者はくろがね小屋経由で登るが、この展望を見ないのはもったいないと思う。



鉄山や矢筈の森、安達太良山の景色に皆さん大満足で、スマホに絶景を撮りまくっていた。箆山をトラバースして進み、広い雪の斜面を登り切ると峰の辻に出る。ここは平らに開けた場所で、休憩にはうってつけの場所である。景色を楽しみながらゆっくり休憩し、菓子やお茶をいただきながら疲れた足を休める。ここは十字路になっており、皆さんに山頂直登コースか、牛の背経由で登るか聞くと、牛の背経由で登りたいとの返事。ここから我輩もアイ

ゼンを付け、馬の背へ向かって登って行く。広いカール状の斜面を登って行き、馬の背に出ると視界が開け、沼の平の爆裂口や飯豊山から吾妻連峰の大展望が待っていた。やはりこちらから登って正解である。左に牛の背に向かって稜線を進み、大パノラマを楽しみながら目の前に聳える安達太良山を目指す。雪山の醍醐味を存分に楽しみながら歩き、山頂下の肩に到着する。ここからは岩場をほんのひと登りで、安達太良山山頂に出る。山頂からの展望は素晴らしく、360度の大パノラマが広がり、久しぶりの景色に大感動。記念写真を撮り、展望を十分楽しんだら下山する。山頂は一方通行になっており、下山は南側の下山道を下り肩に出る。肩でランチタイムの予定だったが、風が少しあるので皆さんの了解を得て先の風が無い場所まで進むことにする。



広い尾根を南東に向かって緩やかに下り、途中から東に向かって急坂を下って行く。下り切ると再

び緩やかな尾根歩きになり、風も無いのでここでランチタイムとする。各自持参したお案やおにぎりを食べ、K 澤さん手作りのチャーシューも出て美味しくいただいた。暖かい陽射しを受け、絶景を見ながらのランチは格別に美味しく感じられた。ここからは五葉松の間を緩やかに下り、祠が建つ薬師岳に着く。ここからの眺望は素晴らしく、鉄山から矢筈の森、安達太良山が一望の下見渡せ、秋の紅葉時季には多くの観光客で賑わう場所だ。展望を楽しんだら急坂を下り、五葉松平を經由してスキー場沿いに下り安達太良高原



スキー場に着く。アイゼンを外してトイレを済ませ、駐車場に戻って靴を履き替え帰路につく。

往路を戻り東北道的那須高原 SA に寄ってトイレ休憩し、予定よりも早く栃木市運動公園へ帰着した。